

**2019年3月期 第3四半期
決算概要**

**長瀬産業株式会社
2019年2月5日**

目次

連結損益計算書	3
地域(国内・海外)別売上高	4
セグメント別売上高 2期比較	5
セグメント別営業利益 2期比較	6
連結貸借対照表	7

連結損益計算書

■売上高：基盤領域(機能素材・加工材料)を中心に好調に推移したことにより、全体として増収

■営業利益：増収に加え、製造子会社における収益性の改善等により、増益

(単位：億円)

	17/12	18/12	増減額	前年同期比	通期見通し
売上高	5,935	6,164	+ 229	104%	8,280
売上総利益	779	808	+ 29	104%	1,073
<利益率>	13.1%	13.1%	△0.0%	—	13.0%
販売費及び 一般管理費	575	599	+ 23	104%	818
営業利益	203	209	+ 6	103%	255
経常利益	221	222	+ 0	100%	275
親会社株主に帰属する 四半期純利益	146	161	+ 14	110%	186
US\$レート (期中平均)	@ 111.7	@ 111.1	@ 0.5 円高		@105
RMBレート (期中平均)	@ 16.6	@ 16.6	@ 0.0 円高		@ 16.5

【為替変動による18/12期実績 売上高および営業利益への影響額】

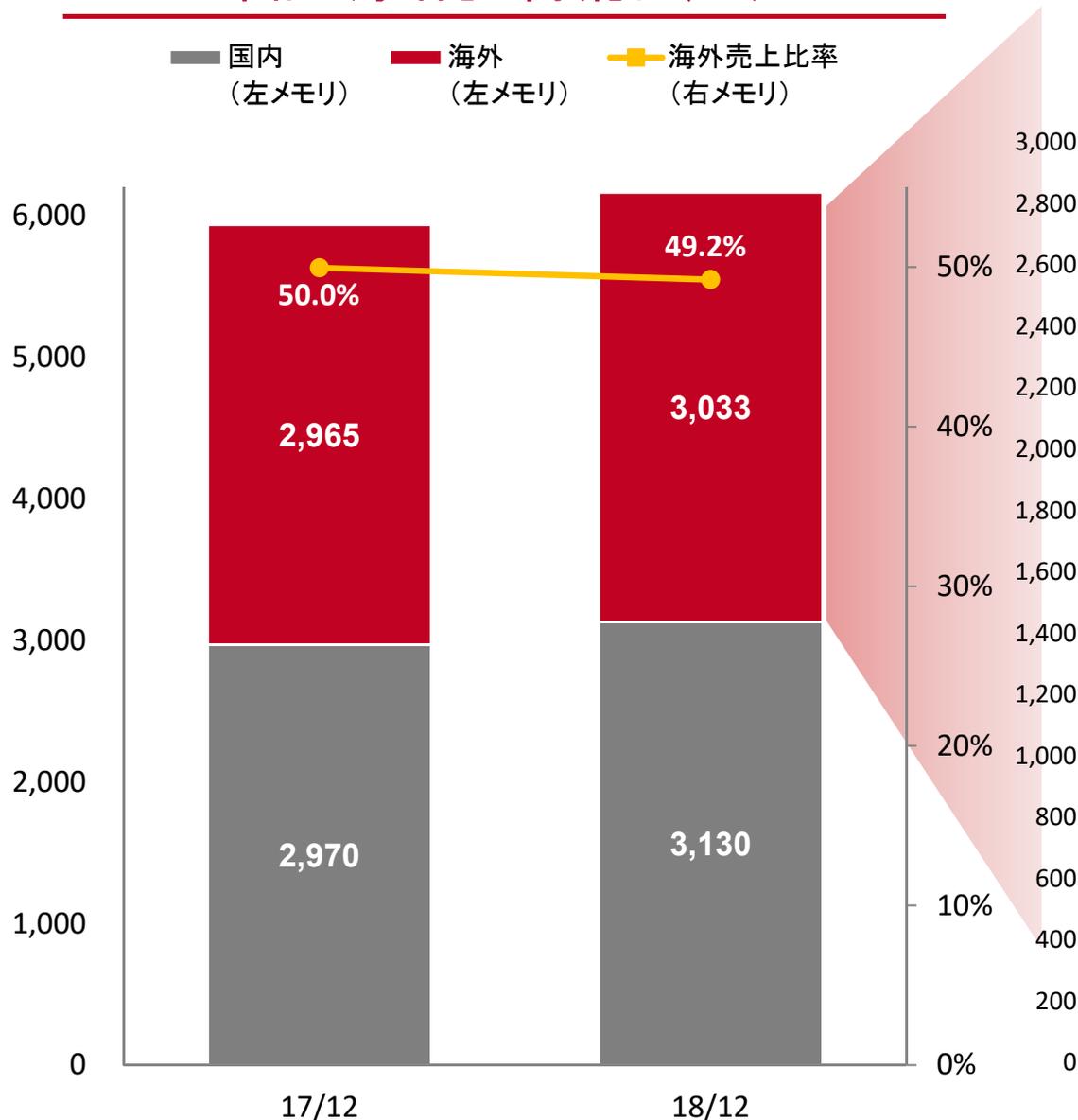
売上高:約△6億円

営業利益:約△0.1億円

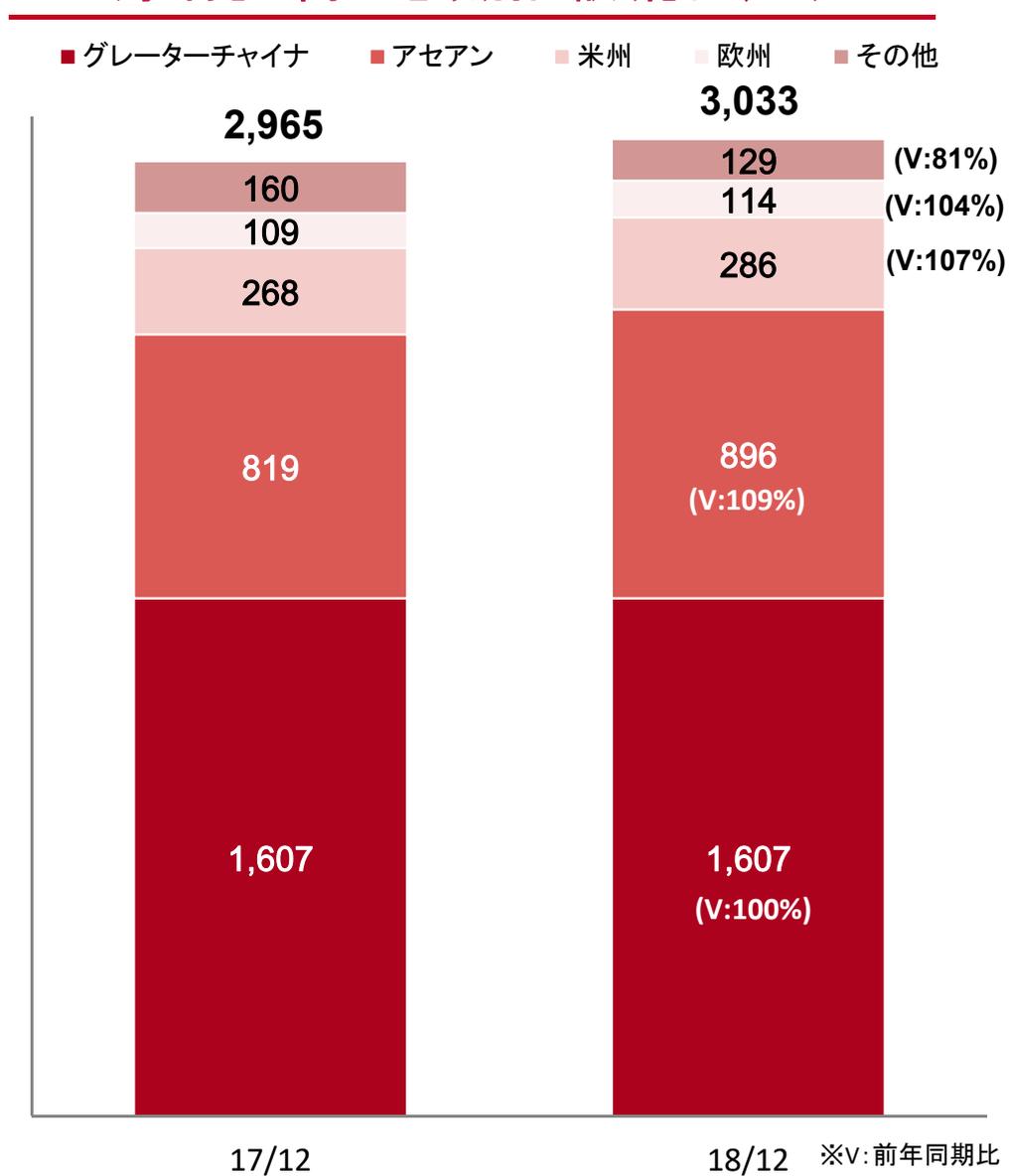
地域(国内・海外)別売上高

■国内事業に加え、アセアンおよび米州を中心に海外事業が好調に推移(海外売上比率49.2%)

国内・海外売上高(億円、%)



海外売上高の地域別内訳(億円、%)

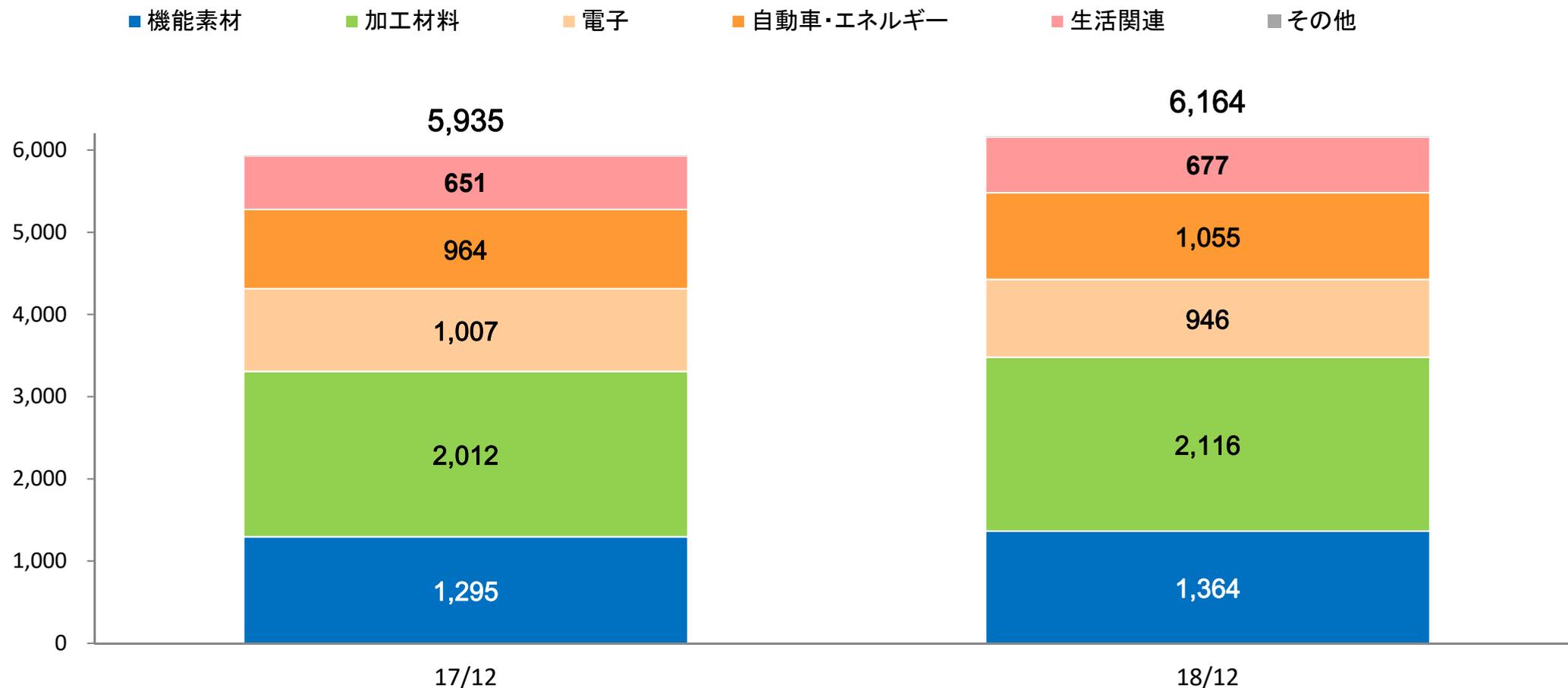


※V: 前年同期比

セグメント別売上高 2期比較

- 機能素材：自動車生産台数の堅調な推移およびナフサ価格の上昇等により塗料およびウレタン原料の売上が増加、またエレクトロニクスケミカル等の売上が増加し、更に前第2四半期連結会計期間中に米国のディストリビューターを買収したこと等もあり、増収
- 加工材料：国内外において、合成樹脂および情報印刷関連材料等の売上が増加し、増収

セグメント別 売上高（億円）

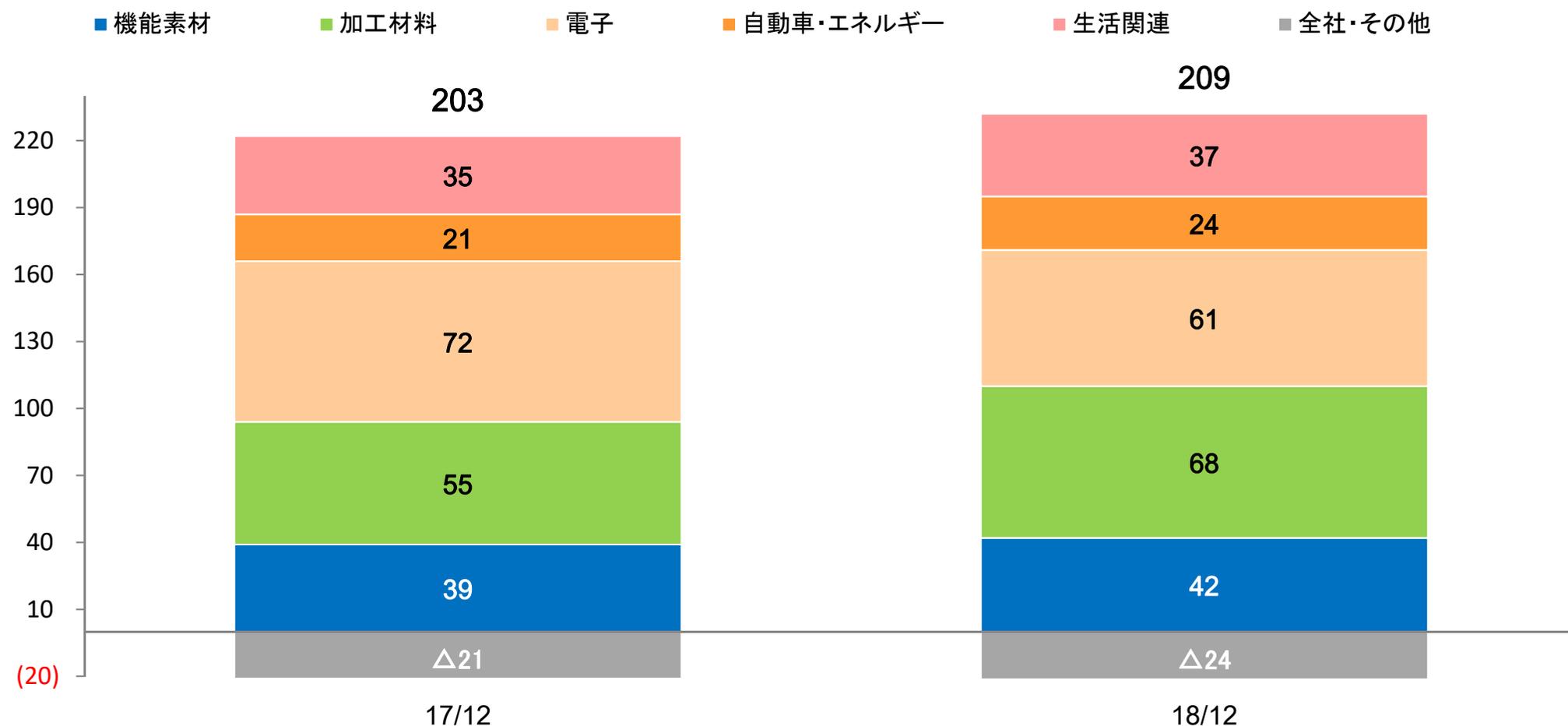


※当期においてセグメント区分の変更を行っており(機能素材の一部を生活関連へ)、17/12の実績値については、当該変更後の区分に組替えて記載しております。

セグメント別営業利益 2期比較

■加工材料:増収に加え、国内外の製造子会社の収益性の改善等により、増益

セグメント別 営業利益 (億円)



※当期においてセグメント区分の変更を行っており(機能素材の一部を生活関連へ)、17/12の実績値については、当該変更後の区分に組替えて記載しております。

連結貸借対照表

■自己資本比率は、1.2ポイント減少し、52.1%

	資産		
	18/03	18/12	増減額
流動資産	3,533	3,770	+ 237
現金・預金	433	430	△ 2
受取手形・売掛金	2,259	2,406	+ 146
たな卸資産	736	825	+ 88
その他	103	109	+ 5
固定資産	2,161	2,039	△ 122
有形固定資産	672	689	+ 17
無形固定資産	410	382	△ 28
投資・その他の資産合計	1,078	967	△ 110
投資有価証券	1,004	896	△ 107
その他	74	71	△ 3
資産合計	5,694	5,810	+ 115

	負債及び純資産		
	18/03	18/12	増減額
流動負債	1,929	2,189	+ 259
支払手形・買掛金	1,180	1,237	+ 57
借入金・CP・1年内償還予定の社債	480	704	+ 224
その他	269	247	△ 22
固定負債	676	543	△ 132
長期借入金・社債	379	284	△ 94
退職給付に係る負債	145	134	△ 10
その他(繰延税金負債等)	152	124	△ 27
負債合計	2,606	2,733	+ 126
純資産	3,088	3,076	△ 11
株主資本	2,502	2,587	+ 85
その他の包括利益累計額	533	440	△ 92
その他有価証券評価差額金	507	413	△ 94
為替換算調整勘定	29	28	△ 0
その他	△ 3	△ 1	+ 1
非支配株主持分	51	48	△ 3
負債及び純資産合計	5,694	5,810	+ 115

(単位: 億円)



Bringing it all together

<https://www.nagase.co.jp/>

当プレゼンテーション資料には、2019年2月5日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。